

大学間による同一目的の業務共通化検討

各大学における各種取り組み（現在実施している、今後実施したい）について、大学間の連携によって業務の効率化や経費削減が期待できること、スケールメリットによって相乗効果が発揮できること等の視点で記載してください

No	大学名	取組状況	事業目的	事業名	事業内容	実施時期	対象者	備考	
公開講座等	1	群馬大学	①現在実施している	本学における教育・研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の教育文化の向上に資することを目的とする	公開講座	主に学内講師が講義を行うが、一般対象講座（33件）、専門技術者対象講座（6件）、高校サイエンスインスタクター育成プログラム(3件) (令和元年度実績)	4月～3月	一般（地域住民の方）	大学独自で実施しているものであるため、全ての講座を共通化することの調整は困難であるが、対象が一般向けであるので、広報は共通化できると考える。また、合同開催も計画可能。
	2	群馬大学	①現在実施している	本学における教育・研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の教育文化の向上に資することを目的とする	シンポジウム	各学部において、「テーマ」を決定し、開催しているものであり、年間10数件のシンポジウムを実施している。	4月～3月	学生 一般（地域住民の方）	シンポジウムについて、プラットフォームにおいて「テーマ」を決めて準備にあたれば、共催可能ではないか。
	3	前橋工科大学	①現在実施している	大学の研究及び教育の成果を広く市民に紹介し、社会人の教養を高め市民の生涯教育に資することを目的とする。	公開講座	各学科1回（全6学科）、原則、学内講師による講義を行う。	11月～12月	地域住民	
	4	群馬医療福祉大学	①現在実施している	地域の方々に生涯学習を進めていただく場もしくはリカレント教育の機会として提供。	公開講座	その年度ごとにおおまかな講座の方向性を決め、全7回で実施。（昌賢祭（学園祭）でのゲスト講師の講座も含む）。4回以上参加した方に「修了証」発行。「ぐんま県民カレッジ」連携講座。	10月末～11月末	地域住民の方	本学独自で学内講師が担当をして実施する枠組みがすでにできあがっており、新しい考え方に偏向することへの関心が低い。
	12	明和学園短期大学	①現在実施している	開かれた大学を目指し、地域貢献の一環を目的とする。	公開講座	こども学・栄養専攻の分野に沿った体験型講座を年2回実施。	2月頃	地域住民の方	
	20	明和学園短期大学	①現在実施している (拡大したい)	防災に自らたち向かう意識の高揚を目的	公開講座	(緊急時の食や運動は実施中) プラスして自ら家屋や塀の安全チェック、緊急時負傷の誰もが出来る応急措置		市民	・緊急時のことは本学で実施中。 ・安全チェックは建築学、土木等の関係大学教員への依頼。 ・応急措置は医療系の大学教員への依頼。
	21	共愛学園前橋国際大学	①現在実施している	大学における研究と教育の成果を広く社会に還元し、地域住民の教養と文化の向上に寄与することを目的とする	公開講座	その年のテーマに沿った講義を数回（2～3回程度）、学内外の講師をお招きし行う。	11月～12月	地域住民の方	
	18	明和学園短期大学	②今後実施したい	前橋の文化・歴史・産業・食・教育など改めて学び、前橋を再発見することが目的。	(仮)前橋学講座	6大学の得意分野を活かして合同の公開講座を実施。リレー形式で繋げる。スタンプラリー等を利用してスタンプが揃うと前橋の特産物が貰えるなど・・・		地域住民の方 (対象に合わせて内容を変更しても)	各大学でのプログラム構成や連携が必要。広報する手間や冊子等の経費削減になる。
11	明和学園短期大学	①現在実施している	市民の皆様に様々な分野への興味を深めてもらう目的 (育成会の行事や各地区の生涯学習一貫として活用してほしい)	出張講座	それぞれの専門的な知識を活かした講座を依頼された場所に赴いて実施。 現在講師料は無料。材料費は別途徴収。	年間	地域住民の方	出張講座を行っている大学があれば、6大学出張講座のチラシ・冊子等で配布したい。広報する手間や冊子等の経費削減になる。窓口は各大学で対応。	
FD・SD研修	5	群馬医療福祉大学	①現在実施している	大学教職員の高等教育への理解や知識の向上、教育力などの向上を目的として実施。	FD・SD研修	全学で年6回実施。夏期休業中に全学で2回実施。共通する内容を実施する場合は、合同FD・SDは有効と思われる。	メインは9月に二回、その他年度の節目のところで実施	本学全教職員。非常勤も含む	学長など執行部の理解が得られれば実施が比較的容易な領域かと思われる。ただ、内容や講師によって、他大学の利益のためにやっていると感じ止められるものには、全体的に難色が示されやすい。
	14	明和学園短期大学	①現在実施している	教員に資質向上のための	FD研修	外部講師に依頼し年2～3回実施。 授業改善において新しい技術の習得、PDCAが出来ているか点検を行う。	年間	教員対象	外部講師を招く経費の負担削減 他大学の教員と実施することで意識される。
	15	明和学園短期大学	①現在実施している	教職員の資質向上のための	SD研修	大学等改革総合支援事業の内容を学内で共有する。 SD委員会のメンバーが研修後の報告会を実施する。	年間	教職員対象	他大学と合同で実施する事で本学に必要な事は何かを学べるし意識が高まる。
	23	共愛学園前橋国際大学	①現在実施している	教職員の知識・能力向上を目的とした組織的取り組み・支援	FD/SD研修	内外部の有識者による講演やシンポジウム、参加者の知見共有・スキル向上等図るGW等の実施。 先進事例先への視察。	通年	主に大学教職員	

大学間による同一目的の業務共通化検討

各大学における各種取り組み（現在実施している、今後実施したい）について、大学間の連携によって業務の効率化や経費削減が期待できること、スケールメリットによって相乗効果が発揮できること等の視点で記載してください

No	大学名	取組状況	事業目的	事業名	事業内容	実施時期	対象者	備考	
大学及び学生間交流（社会貢献等）	6	群馬医療福祉大学	①現在実施している	地域貢献活動や地域交流として祭りに参加。七夕まつりは子供が楽しめる空間の提供などを通し、学生の教育の機会としても利用。	前橋市の行事への参加（前橋七夕まつり）（前橋まつりだんべえ踊り）	七夕まつりでは、子供向けゲームや製作に参加。サークル発表も実施。前橋まつりでは学園をあげて、700名程度が踊り手として参加をし、町の活性化に貢献する。	7月、10月	学生	これも長年枠組みが固まっていることが課題。他大学の学生とチームを組んで踊りを作ったり、参加ブースを作ったりするなどの方向性が考えられるが、経験や発想がないので、執行部の理解のもとトップダウンで実施することが必要か。
	7	群馬医療福祉大学	②今後実施したい（協定を締結しているが、特に目立つ取り組みはできていない）	大学における教員養成の充実及び市内の学校教育ならびに社会教育の充実を目的とする。	前橋市教育委員会連携協定	教職を目指す学生の教育現場における臨床体験等の充実による実践的指導力の育成と、大学による学校教育の充実のための授業支援ならびに社会教育充実のための支援等の連携・協力		学生、地域の学校	具体的な取り組みに関する話し合いの場が作れていない。結果、学生の見学の機会を作ったり、プール指導などの一部分だけ現場に協力をいただいている現状にとどまっている。
	8	群馬医療福祉大学	②今後実施したい（協定を締結しているが、特に目立つ取り組みはできていない）	前橋市社会福祉協議会と協定をすることで、相互の発展及び充実、地域の発展並びに人材の育成寄与することが目的。	前橋市社会福祉協議会連携協定	社会福祉専門職を目指す学生の実地教育の場の提供。また地域福祉実践に深い経験と学識を有する職員を大学に派遣し講義を実施するなど。主な事業は、ボランティアに関する学生の派遣に協力することなど。	年間	学生、地域	社会福祉の専門の場に関するボランティアなどに積極的に取り組んでいるが、大学の垣根を超えてボランティアを統括する部門ができれば、学生間交流の機会にもなる。しかし、大学の特色としてボランティアに行くことを求める枠組みがあるので、他大学と連携したことがない。経験のなさが壁か。
	13	明和学園短期大学	②今後実施したい	前橋住民の方をめぶく。プラットフォーム前橋を知ってもらうのが目的	（仮）前橋シティマラソン支援	何か目標を決めてそのゴールに向けての過程を6大学で支援・サポート可能な内容。（例えば前橋シティマラソンをゴールにして食・医療等の面からサポートして完走させるなど出来ないか。）	目標時期に合わせて	地域住民の方	各大学でのプログラム構成や連携が必要。
	16	明和学園短期大学	①現在実施している	群馬県の特産物を活かして地域の活性化に繋げることが目的	商品開発	群馬県産小麦粉「さとのそら」を使用したお菓子を開発したがそこでとまっているので、各大学からの支援を頂き、異なった視点での商品開発を目指したい。			大学のコラボ企画で商品開発が出来れば、地域活性化に繋がられる。
	17	明和学園短期大学	①現在実施している	子育て世代がより前橋が住みやすい場所だと思って頂くことが目的	子育て支援活動「子育て広場マンボウ」	本学の学生が子どもたちの楽しめる遊びや手作りおやつを準備して子ども達と触れ合う。ママ&ぱぱカフェを開き、悩み相談等を実施。	5～12月 年6回程度	未就学児と保護者	本学の学生だけだと内容が固定してしまうので、英語、医療、科学など他大学の学生が子ども達に関わることで事業を活性化させたい。

進学・就職	22	共愛学園前橋国際大学	①現在実施している	前橋を中心とした県内高校へ、前橋6大学の教育内容や取り組み、魅力などの情報発信の強化を行う	学生募集（進学相談会）	前橋6大学として年1回程度行うなどしてイベント化等することにより、教育の街：前橋としてのブランド力の醸成や情報発信の場とする	4月～11月	高校生	
	24	共愛学園前橋国際大学	①現在実施している	地元企業を中心とした産業界と大学（生）との密なコミュニケーションの場	地元企業研究・企業説明会	従来の企業説明会より企業と大学（生）が、お互いの距離を詰められるような語り合える場の提供。	通年	地元企業・大学（生）	コミュニケーションを密にするためには参加企業・参加者とも人数を抑え、回数を多くするべきか

大学間による同一目的の業務共通化検討

各大学における各種取り組み（現在実施している、今後実施したい）について、大学間の連携によって業務の効率化や経費削減が期待できること、スケールメリットによって相乗効果が発揮できること等の視点で記載してください

	No	大学名	取組状況	事業目的	事業名	事業内容	実施時期	対象者	備考
単位互換・プログラムの共同化	9	群馬医療福祉大学	①現在実施している	短期大学を中心に、各種介護系資格取得講座を実施し、地域の就労支援に貢献する。	各種資格取得講座	訪問型サービスA従事者養成研修、介護職員初任者研修、重度訪問養成研修等	年間	介護従事者	専門領域なので、プラットフォームに広げたいが、各大学で受けられる研修を一元化したパンフレットや問い合わせ先一覧を作るのはすぐできるもので、抵抗もないか。
	10	群馬医療福祉大学	①現在実施している	教養を高めること、自己啓発を目的に学びたいなどという社会人のニーズに応えるプログラムとして、科目等履修生、履修証明プログラムを実施。	科目等履修生・履修証明プログラム	正規の学生と同様に本学の講義を受講し、本学の正規の単位を認定する。また、総時間120時間以上を修了した場合は、学校教育法に基づく「履修証明書」を発行する。	年間	地域住民の方	単独の募集ではほとんど募集がない。各大学での授業をつないで、一定の方向の教育プログラムとして提示したり、資格取得につながるものを提示したりできれば、社会人の参加が増えるのではないか。
	19	明和学園短期大学	②今後実施したい		単位互換	本学は他大学との単位互換を行っていない。特定分野に限らず幅広く興味・関心を持ってもらうために実施したい。		学生	各大学に交渉し依頼。 本学の学生が受講できる科目があるのか問題。
	25	共愛学園前橋国際大学	①現在実施している	多様な知識・特性を持った他大学（生）と留学（プログラム）を行うことによる、学びの相乗効果を狙う	留学プログラム	多角的・多様性のある留学プログラムの共同開発・実施を行う	長期休暇中 8～9月、2～3月	大学生	多様な学生が参加するため、満足度の高いプログラム（課題）の設定
	26	共愛学園前橋国際大学	①現在実施している	学びの選択肢の拡大 前橋6大学の学びの連携強化	単位互換 ・共同プログラムの開発	単位互換科目の設定、手続きの一元化（簡略化？） 分野横断型プログラムの提供	前・後期	大学生	キャンパス間の移動手段確保